

大吉山瓦窯跡

第1次発掘調査
現地公開資料

宮城県多賀城跡調査研究所
大崎市教育委員会



はじめに

宮城県多賀城跡調査研究所では、奈良・平安時代の陸奥国府・多賀城と関連の深い県内各地の遺跡の発掘調査を、昭和49年から計画的に実施しています。

多賀城は今からおよそ1,300年前の8世紀前半に創建されました。そのときに建物の屋根にふかれた瓦は、多賀城から直線距離で約23～35km離れた宮城県北部の窯で焼かれたものであることが分かっています(図1)。これまでに日の出山窯跡群(色麻町)、木戸窯跡群(大崎市田尻)、下伊場野窯跡群(大崎市三本木・松山町)の発掘調査が行われ、これらのうち一部は国の史跡に指定されています。

大吉山瓦窯跡は江合川の左岸、標高40～50mの丘陵斜面に立地し、周辺には小寺遺跡・杉の下遺跡などの奈良時代の遺跡が多く分布しています(写真①)。昭和49年の農道工事の際に窯が発見され、出土した瓦が多賀城で使われていたものと同じであったことから、昭和51年に約2,180㎡が国の史跡に指定されました。遺跡の発見からおよそ50年たちますが、これまで発掘調査が行われていなかったため、窯の数や構造など不明な点が多く残されていました。今回初めて発掘調査を行うことで、それらの解明を目指しています。

今年度は、窯の数や分布を確認することを主な目的として、史跡指定地内に細長い調査区(トレンチ)を複数設定し、調査を行いました。



図1 多賀城創建期の瓦生産遺跡と供給先



写真① 上空からみた大吉山瓦窯跡
(北側から撮影)



みつかった窯

発掘調査の結果、窯は全部で8基（窯1～8）あると考えられます（図3）。このうち窯2と窯3は、昭和49年の農道工事で見つかった窯の一部とみられます。それら以外にも、斜面の下の方に複数の窯が並んで分布していることを確認しました。

当時の窯は斜面にトンネル状に掘りこまれた「地下式窖窯」が一般的で、幅約1m、長さは5m前後あります（図2）。見つかった窯のうち、窯1・2・3・5は、窯の天井がつぶれてできた窪地が現在の地表面でも確認できました。一方、窯6・7はほとんど窪んでおらず、天井がつぶれずに地下に残っている可能性があります。窯4・8は今回の調査では明確に範囲を把握することができませんでした。

窯1～3と5～7では、窯から掻き出された炭や焼土、失敗作の瓦などが積もってきた「灰原」が、現在の地表面でも盛り上がって残っているようすが観察されました。また、窯2と3、窯5～7はそれぞれ約5mの間隔で並んでおり、複数の窯が同時に操業していた可能性があります。

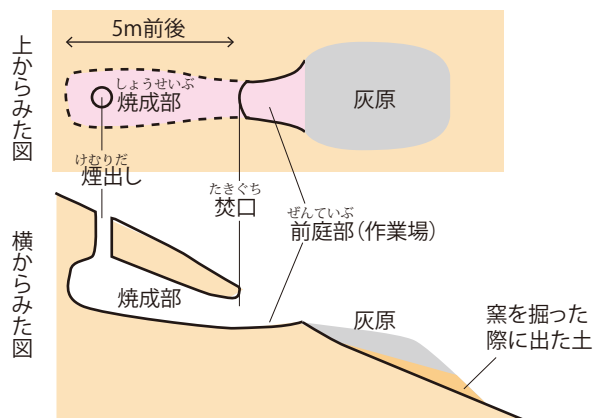


図2 窯の形態模式図



写真② 窯1・2（南から） 黒く見える部分に窯があります



写真③ 窯5（南東から） 現在の地表面も窪んでいました



写真④ 窯6の焚口付近を一部掘り下げ（南東から）
1.6m掘り下げましたが、窯の底には達しませんでした



写真⑤ 灰原で見つかった瓦集中（南東から）
鬼板が出土しています→写真⑥へ

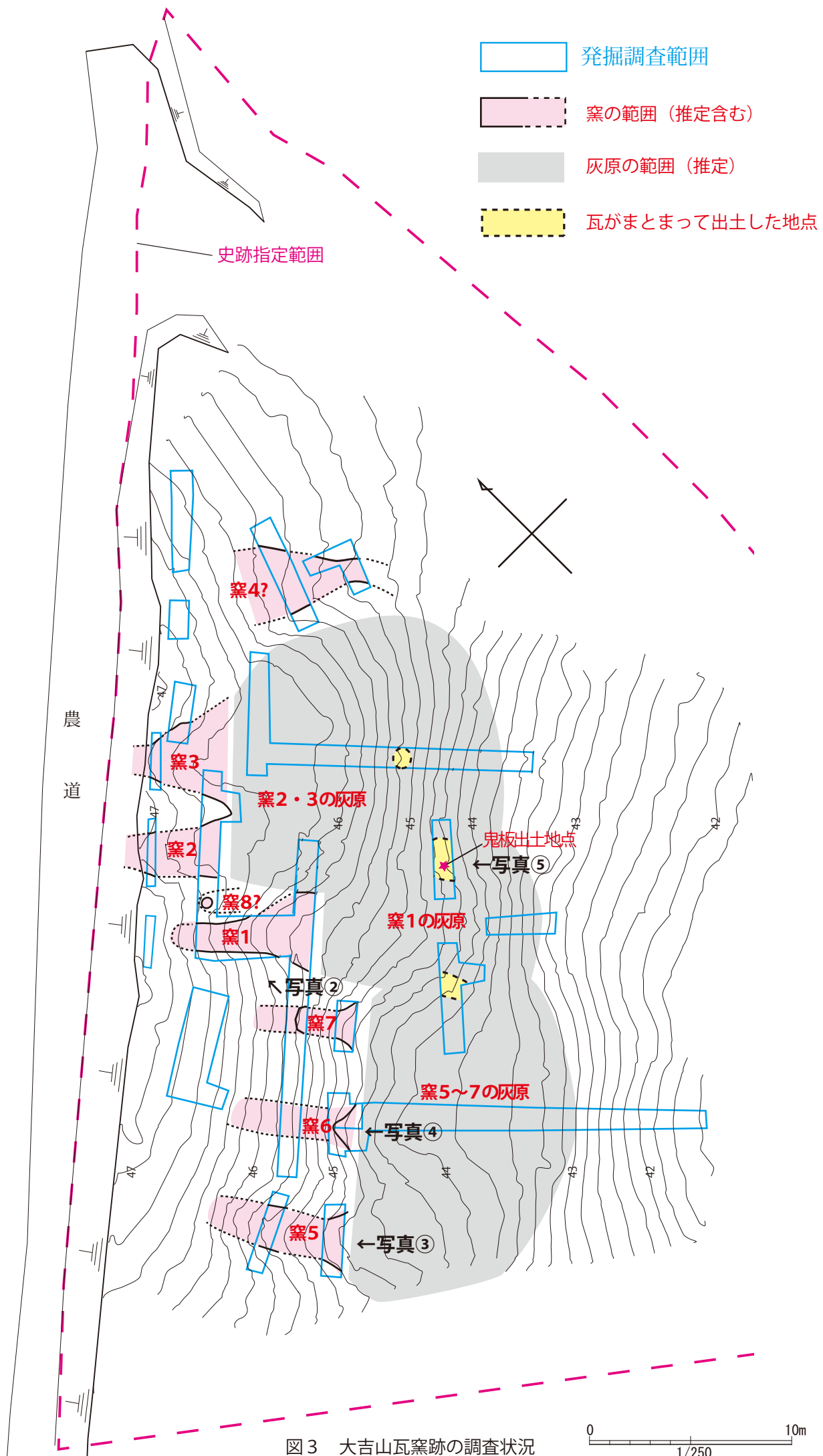


図3 大吉山瓦窯跡の調査状況



出土した遺物

今回の調査では多数の瓦が出土しています。大部分が焼成に失敗して捨てられたとみられる平瓦や丸瓦の破片で、軒丸瓦・軒平瓦の破片も複数含まれています。なかでも写真⑥の鬼板は、屋根の棟の端を飾る板状の鬼瓦で、多賀城でも中心的な施設などで使うために作られた特別な瓦と考えられます。また、丸瓦には「下」の文字がへら書きされたもの（写真⑨）が5点以上確認されており、「下総」「下野」など瓦の生産を負担した関東地方の国名を表している可能性があります。



写真⑥ 重弁蓮花文鬼板
長さ約 37cm、ハスの花をモチーフとしています



写真⑦ 二重弧文軒平瓦
軒丸瓦と組み合わせて屋根の軒先を飾っていました



写真⑧ 重弁蓮花文軒丸瓦
昭和 49 年出土のもの（大崎市教育委員会所蔵）



写真⑨ 丸瓦へら書き「下」



まとめ

今回の調査の結果、大吉山瓦窯跡では多数の窯が良好な状態で残っていることを確認しました。次年度以降の発掘調査では、窯の内部を含めた調査を行い、窯の詳しい構造や、窯どうし新旧関係などを明らかにしていきたいと思えます。また、出土した瓦を分析し、ほかの窯跡群や多賀城から出土した瓦と比較検討していきます。

調査要項

所在地：宮城県大崎市古川小林字浦越地内
調査指導：多賀城跡調査研究委員会(委員長 佐藤 信)
調査主体：宮城県教育委員会(教育長 伊東昭代)
共 催：大崎市教育委員会(教育長 熊野充利)
調査担当：宮城県多賀城跡調査研究所
大崎市教育委員会文化財課
調査員：初鹿野博之・矢内雅之(宮城県)、早川文弥(大崎市)
調査期間：令和3年6月1日～8月10日(予定)
調査面積：約150㎡



宮城県多賀城跡調査研究所
〒985-0862
宮城県多賀城市高崎1-22-1
TEL：022-368-0102
FAX：022-368-0104
<http://www.thm.pref.miyagi.jp/kenkyusyo/>

